

140字の戦争

デイヴィッド・パトリカロス 著



「140字」はツイッターの文字数のことであり、書名だけを見れば、「戦争」はツイッターでの炎上などを比喩的な意味で使っているのかと推測する人もいるだろうが、本書で語られているのはリアルな戦争そのものである。

SNSの破壊的影響力

「140字」はツイッターの文字数のことであり、書名だけを見れば、「戦争」はツイッターでの炎上などを比喩的な意味で使っているのかと推測する人もいるだろうが、本書で語られているのはリアルな戦争そのものである。

評・佐々木俊尚 (ジャーナリスト)

SNSの世界で「物」が多くの支持を得るという戦いが重要になってきている。ウクライナ紛争では、ロシアは軍事力だけでなく、SNSでプロパガンダを仕掛け、「ウクライナ政府があなた

読書日和

斎藤真理子さん



さいとうまこさん 1960年新潟県生まれ。韓国釜山の紹介者として活躍し、訳書に『ピジョン』『すべての、白いものたち』『82年生まれ、キム・ジョン』など。

塩を食う女たち

藤本 和子 著

聞き書きが好きだ。藤本和子さんは有名な翻訳家だが、私は翻訳書より先に「塩を食う女たち」に出会ったので、藤本さんといえ

藤本和子

「黒人であり、女であるあなたは、どこでこのアメリカを生きるの?」と答えてユニスという人が、西

黒の服飾史

徳井 淑子 著



1982年のパリコレクションで、日本のファッションブランドのヨウジヤマモトとコム・デ・ギャルソンがそれぞれ黒い服を発表し、「黒の衝撃」を齎した。その後、日本でもフランス族という黒の服がはやった。現在では、黒はファッションアイテムの一つとして、すっかり定着した。

悲しみの色が美まとう

評・布施 英利 (美術批評家、解剖学者)

「現代にまで続く長い黒服の歴史は、中世末期の15世紀に始まる」と著者は書く。貧しさなどを暗示し、農民服や修道服の色だった黒がこの時期、突如流行した。悲しみの感情の受け止め方が、人々の間で負から正へと変化した。悲しみの色が美しい色となった。

〈自閉症学〉のすすめ

野尻 英一、高瀬 堅吉、松本 卓也 編著



自閉症者には、「コミュニケーション」やその際に見せる表情や態度に困難があり、限られたものに対する注意や行動が繰り返されやすいといわれる。これは自閉症者にとって特徴があるかを理解する立場から記述した考えだ。この見解を第1章に据えた本書は、九つの異なる研究領域の論考が構成されている。

迷惑を掛け合って補う

評・細馬 宏通 (早稲田大学教授)

「折れ合い」とは、お互いが「折れ合い」をかけることによって、迷惑を掛け合って補う。巻末の鼎談で哲学者の國分功一郎は、自らの知覚を託せると存在である「類似的他者」と出会い大切さを指摘する。と出会う大切さを指摘する。自分の異なる研究者としての自身の考えを他者に開く本書は、お互いが「類似的他者」となることを実践している。(ミネルヴァ書房・2160円)

読書

励まされる聞き書き本

「職人を知る」(聞き書き)という(泣き出ししてしまう)というカッコ書きに藤本さん自身がいる。藤本さんは演劇に縁の深い人だ。ト書きのような小さなカッコ書きが、ユニスの語りという一本のひもに結び目を作って、「こころ」を示している。



読んでみるよ

職人を知る

「職人」と聞くと「伝統」という言葉が浮かぶ人も多いだろう。同時に「後継者不足」という言葉も頭をよぎる。しかし実態はどうなのか? 早坂隆著「現代の職人」(P1P新書・920円)はタイトル通り、今を生きている伝統工芸の職人たちにインタビューしている。その職種は加賀友禅、江戸切

技術重視、生き残りも

県からのお知らせ
7月21日(日)は参議院議員通常選挙の投票日です
宮城県警察官・警察職員採用試験、サイバー捜査官等選考考査
宮城県旧優生保護法一時金受付相談窓口

みやぎ県民大学開放講座受講生募集
松竹大歌舞伎
県高等技術専門校オープンキャンパス
地区別公立高校合同説明会

口コミでモノを買う人が、増えている。
JAAA
Japan Advertising Agencies Association